

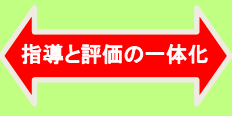


# 「特別の教科 道徳」の評価の充実を図る!

## 道徳科における評価の基本的な考え方



児童生徒にとって評価とは、**自らの成長を実感し、意欲の向上につなげていくもの**



教師にとって評価とは、**目標や計画、指導方法の改善・充実に取り組むための資料**

### 【道徳科の評価の在り方】

- ◆個々の内容項目ごとではなく、**※大きくくりなまとまりの中で、道徳性に係る成長の様子**を把握すること。
  - ◆児童生徒の成長を受け止め、認め、励ます**個人内評価**であること。
- ※年間や学期といった一定の時間的なまとまり

抜粋：小学校学習指導要領解説pp.100-114  
中学校学習指導要領解説pp.111-116

### 【指導要録への記述】

一人一人の児童生徒の学習状況や道徳性に係る**成長の様子**について、発言や会話、作文・感想文やノートなどを通じて、**特に顕著と認められる具体的な状況**を記述する。



参考：令和2年度「鳥取県学校教育のめざすもの」pp.147-154

## 学校として組織的・計画的に行う評価に向けて



複数の指導者で**学習状況の見取りを共有し、信頼性・妥当性を確保**しましょう。

### 【組織的・計画的な評価の推進例】

- 学年ごとに評価のために集める**資料や評価方法等**を明確にしておく。
- 評価結果**について教師間で検討し、**評価の視点**などについて共通理解を図る。
- 評価に関する**実践事例**を蓄積し、共有する。

【実践例】校内研究会や学年会等で、児童生徒の振り返りをもとに学習状況の見取りを共有する。

手順① 同じ資料(または同じ内容項目)を扱った授業の振り返りを持ち寄り、内容項目の指導の視点や本時のねらい等を確認する。

学習指導要領解説で指導の視点を確認

資料名：カメは自分を知っていた(中学校1学年)A-(3)向上心・個性の伸長  
本時のねらい：百人一首大会でライバル関係にある生徒たちの物語を通して、自己を知り、向上心をもって物事に取り組む姿勢について考えさせ、自分のよさを伸ばしていこうとする心情を育てる。

手順② 評価の手がかりとなる見取りの視点を確認する。

【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか】  
(例)現在の自分自身を振り返り、自らの行動や考えを見直している。

【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか】  
(例)自分と違う立場や感じ方、考え方を理解しようとしている。

R2「鳥取県学校教育のめざすもの」149ページにも、評価の視点例を示しています。



手順③ 振り返りの記述を視点をもとに評価し、結果について教師間で検討する。

【生徒Aの振り返り】  
ぼくはマラソンが苦手だけど、毎日コツコツ練習することで記録を上げることができた。今日の学習で、努力を積み重ねられるのが自分のよさだと気付いた。これからも自分のよさを生かして、色々なことにチャレンジしたい。



【生徒Bの振り返り】  
私ははじめ、自分の「よさ」が一つも思いつきませんでした。でも、話し合いの中で、友達が色々な視点から見た私の「よさ」を教えてくださいました。友達が気付かせてくれた「よさ」をこれからもっと伸ばしていきたいと思いました。

生徒Aについては、自分のこれからの生き方についての新しい気付き・考えの記述がみられますね。これは【道徳的価値の理解を自分自身との関わりの中で深めているかどうか】を評価する手がかりになりますね。



生徒Bについては、自分と違う意見を理解しようとする事で多面的・多角的に考えようとしている記述がみられますね。これは【一面的な見方から多面的・多角的な見方へと発展させているかどうか】を評価する手がかりになりますね。

手順④ 評価に関する実践事例を蓄積し、共有する。